

令和3年7月発行 第41号

茨城県在宅保健師の会

会報



アイスランド最大の氷河湖「ヨークルサルロン氷河湖」 撮影：黒須道子会員

20周年事業

「茨城県在宅保健師の会災害支援実施要項」を策定しました

茨城県在宅保健師の会 会長 照沼 美代子



本会は、昨年3月に20周年を迎えました。新型コロナウイルスの出現により、コロナ禍の三密回避やマスクをつ

ける新しい生活が始まりました。この文章を書いている今は、ワクチン接種が開始されており、安心安全なオリンピック・パラリンピックの開催が期待されている状況です。皆様には健やかな日々を過ごされていることと存じます。

近年の風水害・地震・放射線事故等災害により、防災意識の強化が求められる状況下にあります。国民健康保険中央会主催「令和元年度都道府県在宅保健師等の会全国連絡会」(令和2年2月6日於全国都市会館)において、全国の活動状況報告と課題の一事項として災害時の対応状況について問われていた時期と同時に、茨城県からコロナ電話相談事業の打診を受けました。役員会として検討を重ね、会員の皆様には令和2年度連絡会でご意見をいただきながら、「災害支援実施要項」の策定を進めてまいりました。この程、茨城県国民健康保険団体連合会と合意に至り、4ページのとり策定することができました。災害ボランティアとして、現地支援体制の中で安心して関係団体・機関等と協議調整を図り、円滑かつ適切に対応すること、また、現役保健師の後方支援者として本会の使命を果

たすこと等を「ねらい」として策定しました。会員の災害支援活動が安全安心に遂行できることを担保し、保健師の原点に立ち戻り、支援者として登録していただける環境が整いました。毎年、現況調査時に災害支援協力可否についても調査する予定ですので、記入方お願い申し上げます。

一方、20周年記念事業実行委員会では、コロナ禍でも皆様の心に残る事業企画を進めておりました。茨城県国民健康保険団体連合会から、日頃の活動への感謝の心を「形」と、素敵なペンケースをお手元に届けていただくことができました。次の節目に思い出を語っていただく希望を抱きながら、皆様の日常生活のお供にしていだければ幸いです。

最後に、20周年記念事業実行委員の渡邊純子様、大内喜枝子様、佐藤享子様、仲主静子様には、このような社会情勢の中ご尽力を賜り感謝申し上げます。また、今期より事務局新人二人様と、私共役員に後藤サカエ様を迎え、続投させていただきます。よろしく願い申し上げます。

本会が、地域社会の中で公衆衛生の一翼を担える団体として、他団体と共に響き合い前進することを願ひ、茨城県国民健康保険団体連合会への感謝と、関係機関・関係団体の皆様のさらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和3年7月吉日

令和3年度 会員の状況

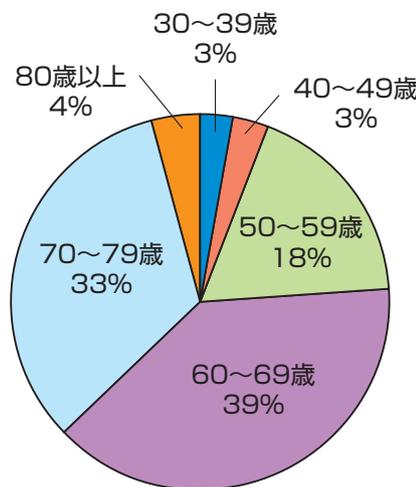
毎年実施している現況調査について、今回は、令和3年3月15日にアンケートを送付しました。郵送・FAX・電子メールにより回答を受け付け、74名中53名の会員の皆様から返信をいただきました。ご協力ありがとうございました。

会員の年齢構成

令和3年4月時点 会員72名（3名退会、1名入会）

年代	令和2年度	令和3年度	増減	
30～39歳	2	2	±0	(名)
40～49歳	2	2	±0	
50～59歳	12	13	+1	
60～69歳	28	28	±0	
70～79歳	24	24	±0	
80歳以上	2	3	+1	
計	70	72	+2	
平均年齢	65歳	66歳	+1歳	

例年、年度途中に2～5名の新規入会があります。既存会員様の紹介で本会を知り、入会して下さる方が多い傾向にあります。今後の本会の発展のため、お知り合いの保健師さんがいらっしゃいましたら、ぜひ本会の紹介をしていただきたく存じます。



退職後に入会する方が多く、60歳代・70歳代の会員が半数以上を占めています。平均年齢は66歳となっており、徐々に高齢化が進んでいます。

居住地別会員数

		県北地区		県南地区		県西地区		県外	
中央地区	水戸市	9	ひたちなか市	4	美浦村	0	県外	2	
	笠間市	3	常陸大宮市	1	阿見町	4			
	鹿嶋市	1	那珂市	1	河内町	1			
	潮来市	0	東海村	2	利根町	0			
	神栖市	1	太子町	0	古河市	3			
	行方市	1	土浦市	3	結城市	0			
	鉾田市	2	石岡市	4	下妻市	1			
	小美玉市	2	龍ヶ崎市	1	常総市	1			
	茨城町	3	取手市	0	筑西市	2			
	大洗町	0	牛久市	0	坂東市	0			
城里町	1	つくば市	5	桜川市	2				
県北地区	日立市	4	守谷市	0	八千代町	0	県外	2	
	常陸太田市	5	稲敷市	1	五霞町	0			
	高萩市	0	かすみがうら市	1	境町	0			
	北茨城市	0	つくばみらい市	1					

会員のいない地域があるので、健康づくり支援事業依頼があった際、近隣地域に在住の方に協力を依頼することがあります。例年皆様には快く支援をお引き受けいただいております。ありがとうございます。

現況調査集計結果

(返信のあった継続会員52名+新規会員1名分の調査票から)

(1) 勤務形態

(名)

年代	常勤	非常勤	勤務なし	未回答
30～39歳	1			1
40～49歳			1	
50～59歳	2	4		
60～69歳	2	18	4	
70～79歳		12	6	
80歳以上		2		
計	5	36	11	1

非常勤として働いていらっしゃる方が多くを占めています。



(2) 業務内容

(名)

特定保健指導	母子保健	健康増進	産業保健	介護保険	学校保健	医療機関	事務	その他
10	9	3	11	4	0	6	3	17

その他に関して

新型コロナウイルス感染症関連（電話相談等）…7名

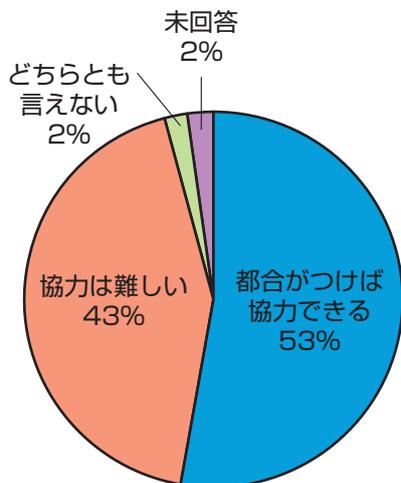
高校の講師、定期健診時の希望者の健康相談人間ドッグ後の個別指導、ケアマネージャー兼介護福祉士、地域保健指導、社会福祉協議会ボランティア、市の介護福祉課家族支援、学童支援、障害福祉保健支援 …各1名

(3) 健康づくり支援事業

協力可能な事業（複数回答可能）

(名)

健康まつり・入浴施設等における健康相談・保健指導	18
重複・頻回受診者に対する訪問指導	13
特定健診未受診者に対する受診勧奨	11
特定保健指導の初回面接	16



健康づくり支援事業協力可否 (図2)

市町村への健康づくり支援事業への協力については、都合がつけば協力できると回答していただけた会員が半数以上を占めています。協力可能な事業に関しても、どの事業も協力していただける会員数を一定の人数保っており、会員の皆様から多大な協力を得られています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス感染症
相談員を経験して

東海村 山本 美恵子

昨年、ひたちな保健所で新型コロナウイルス感染症の電話相談に携わりました。

クラスター発生時は「場所や、名前を教えろ」と怒り、熱中症疑い、感染症の不安、PCR検査を受けたい等の電話相談も数多くお受けしました。

振り返ると、問診とその声を頼りにした判断となり、対応は間違っていたか、相談者は理解してくれていたか、その後体調は戻ったかと折に触れて思い返すことが今でも多くあります。

その中で、相談者から「話を丁寧に聞いてくれてありがとう」「不安だったけど安心した」という言葉を頂けたことは嬉しく思いました。

また、職場環境を整えてくださった保健所に感謝しています。



阿見町 渡邊 清見

在宅保健師の会からの依頼を受け、昨年5月から保健所で働き始めた。

初めは電話対応がメインだった。症状があり相談してくる人が多かったが、それ以外に必要以上に不安を訴える人、人を試すような質問をし勉強不足だと言う人、保健所の対応が悪いと怒り出す人、感染者が増え多忙な中それを知りながら長々と自分の意見を言う人もいた。外国人で言葉が通じないこともあった。自分の気持ちのやり場がなく人を責め、負の感情をぶつけられる辛さを何回も経験した。そのような中、丁寧に気をつけてくださいと言われるとても慰められた。自分も社会のために働いている人に感謝の気持ちを表せるようになりたいと思っ

た。保健所保健師の臨機応変の対応にも感謝し、日々学ぶことが多かった。保健所保健師万歳！



在宅保健師の会員になって

笠間市 海老澤 佐賀恵

この度、照沼会長から声をかけていただき、今年度から在宅保健師の会に入会しました海老澤です。

私は県の保健師として、十数か所の保健所等に異動をしました。中でも片道2時間の車通勤は今でもとても印象に残っています。異動先々の保健師(市町村保健師も)関係者と一緒に主に感染症対策、精神保健対策等行ってきました。かつて、一緒に活動した先輩保健師が、現在も地域保健活動やボランティアで頑張っている姿に勇気づけられ、自分も頑張っていこうと思う気持ちになりました。

県の保健師として38年間勤務をし、2011年3月、東日本大震災の時に水戸保健所で退職をしました。3月は退職の準備どころか震災の対応に昼夜多忙な毎日で、被災者の健康相談等に全力で対応し、退職後もボランティアでお手伝いをしました。

同時に、退職後は現在に至るまで、県の総務事務センターで週4日、「職員の仕事とからだの健康づくり推進計画」に基づき、県職員のメンタル面での健康相談や療休・休職者の職場復帰支援調整会議、職場復帰支援プログラムの作成、業務量軽減の検討、復帰後のフォローを3人の産業医(精神科医)と共に行ってまいります。また、ストレッチによる高ストレス者の相談、集団分析結果を活かした職場環境改善への取り組み等課題はたくさんありますが、産業スタッフと一緒に頑張っているところです。

諸先輩の皆さまとの交流を楽しみにしております。

茨城県在宅保健師の会 会員募集のお知らせ

保健師としての知識や経験を活かして活動できる方を募集しています。

主な活動は、市町村から依頼された健康づくり支援事業への協力です。

活動に役立つ研修会への参加で、情報交換、仲間の皆さんとの交流もできます。

あなたの入会を心よりお待ちしております。

また、保健師の資格をお持ちの方がお近くにいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

お問い合わせ・お申込みは、随時事務局にご連絡ください。

令和3年度 茨城県在宅保健師の会役員の皆様



茨城県在宅保健師の会
設立20周年記念ペンケース

右から、
田丸 玄人 保健師、後藤サカエ 幹事、
鈴木房枝 副会長、照沼美代子 会長、
久米郷子 副会長、黒須道子 幹事、
伊藤陽香 保健師
岡根せつ子 幹事



新役員挨拶

常陸太田市 後藤 サカエ

会員として2年足らずで、3人の幹事の1人として引き受けさせていただきました。初めての役員会に先日参加し、国保連合会の事務局の多大なバックアップの上で、在宅保健師の会が運営されていることや、保健師は資格を活かし、県民全体の非常時の対応等に対しても協力体制を整えつつあることを知りました。会の重要性を知り、不安がありますが、会の発展に微力ですが努力していきたいと思えます。

事務局退任挨拶

水戸市 豊崎 清美



私と在宅保健師の会の出会いは、今から約十数年前。産業保健師として某企業に所属していた時でした。その後、事務局に席をおいてからは皆様に大変お世話になりました。市町村からの各種依頼に、快く対応していただき、本当にありがたかったです。また、その仕事を拝見して、保健師職の魅力を再発見いたしました。国保連合会に退職しましたが、改めて在宅保健師の会に入会しましたので、これからもどうぞよろしく願っています。

新事務局員挨拶

田丸 玄人

はじめまして！ひたちなか市出身の田丸 玄人（たまるひろと）と申します。中学生のころからテニスをしておりましたが、最近は機会が減ってしまっただけで、今年も草大会に出場することを目標にしています。以前は看護師として自衛隊の病院で勤務しておりましたが、保健師としての経験はこれまでもありませんでした。卒業してから間隔があいてしまったので、異動してからは勉強することも多く、充実した毎日です。

至らない点も多々あるかと存じますが、少しでも早く皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

伊藤 陽香

つくば市で大病院の看護師として5年間働いていましたが結婚を機に退職し、水戸へ越してきました。今年度より、国保連合会の嘱託保健師として勤務させていただいております。保健師としての勤務経験はなく、「自分が保健師として働くなんて、勤まるのだろうか」という不安な気持ちもまだ残っているのですが、それを払拭すべく公衆衛生に関する制度や保健師活動の勉強、国保連合会の仕事に、日々奮闘しております。大・大先輩である会員の皆様から多くを学び、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしく願っています。

発行

茨城県在宅保健師の会事務局
(茨城県国民健康保険団体連合会 保健事業課内)

〒310-0852
茨城県水戸市笠原町978番26
茨城県市町村会館4階

電話：029-301-1553
Fax：029-301-1575
Email：jigy@ibaraki-kokuhoren.or.jp
URL：https://www.ibaraki-kokuhoren.or.jp/zaitaku_hoken_kai

編集後記

新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。県や市町村の保健師さん達はワクチン接種対応に追われながら、地域住民の健康を守るため保健事業の展開に奔走しておられると聞きます。そんな中、今年度も、在宅保健師の会のお力を借りたいと、複数市町村から健康づくり支援事業の申請が寄せられております。すでに協力依頼をさせていただいた会員様もおりますが、皆様快く協力してくださり、感謝につつませぬ。

コロナ禍であることに鑑みて開催を見送っている研修会については、今後役員会で開催可否を協議してまいります。早くコロナが落ち着き、皆様とお会いできる日が来ますように・・・。(H・I)

